

つなぐ
箏リサイトタル

第10回宇都宮エスペール賞受賞者成果発表公演

吉澤 延隆

結びつける、一つにまとめる、Unité

これまでの活動や、宇都宮エスペール賞受賞後に行った
プロボト事業などで得た要素を、

一つのリサイトで発表します。

これまでの宇都宮エスペール賞受賞者やゲストとの協働を通して
コンサートを行い、芸術や音楽、劇場空間を

来場者に実際のものとして結びつけたと思っています。

ごあいさつ

本日は、第10回宇都宮エスペール賞受賞者成果発表公演「吉澤延隆 箏リサイタル —つなぐ—」にご来場くださいます。誠にありがとうございます。

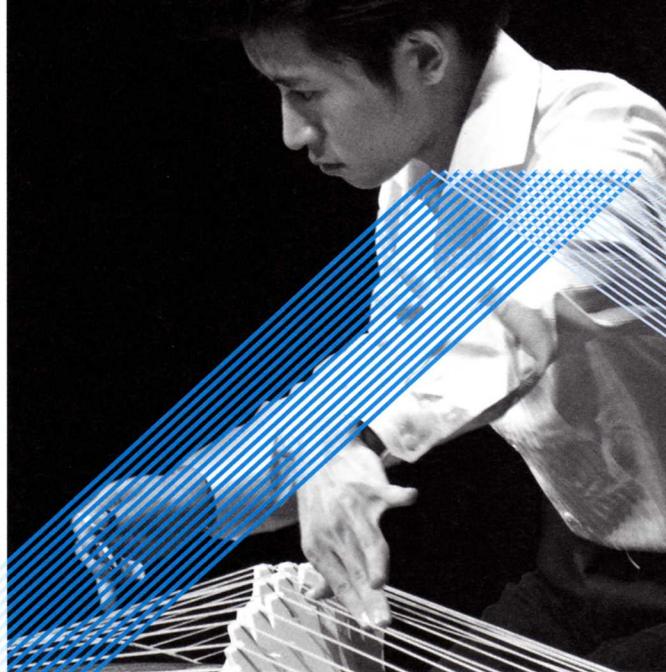
当リサイタルは、2011年に受賞しました第10回「宇都宮エスペール賞」*の成果発表として開催を迎えます。公演のコンセプトは“つなぐ”。これまでの演奏活動はもちろん、同賞受賞者の方々とも協働し「宇都宮エスペール賞」がより宇都宮に結び付いたものになるよう企画いたしました。そして皆さまに、箏も共に同じ時代を生きているのだと実感していただける機会になりましたら、大変嬉しいです。

最後にこの場をおかりしまして、本日のご出演を快くお引き受けくださいました俳優の篠井英介氏、七歳の頃よりご指導ご鞭撻くださいました和久文子師、同世代演奏家の福田智久山、鮎沢京吾、前川智世、津野田智代の各氏、ソウル在住で初めて日本の箏のために作曲してくださったパク ウンギョン氏、新美南吉の世界観に溶け合うような音楽をつけてくださった池上真吾氏、「受賞者同士の専門分野を結び付けたい」という大それた思いに賛同してくださった第4回受賞者で作曲家の名倉明子氏、第9回受賞者でグラフィックデザイナーの笹川アツコ氏、その様な思いを汲み取ってくださった公益財団法人うつのみや文化創造財団と宇都宮市教育委員会文化課の皆様に、心より御礼を申し上げる次第です。

本当に、ありがとうございました。

吉澤 延隆

*宇都宮エスペール賞は宇都宮市の芸術文化の振興を図ることを目的に平成13年に創設されました。この「エスペール」という言葉は、フランス語の「J'espère」—「私は期待する」に由来しており、芸術家の今後の展開を応援しようという思いが込められています。この賞は宇都宮市にゆかりがある芸術家のうち、芸術の創作活動が特に顕著で、今後の活躍が期待できる方に贈られます。創作活動に役立てるための育成金の授与と展覧会等の発表の場を提供し、更には受賞者と市民が交流できる場の創出（プロボート事業）を通して受賞者を育成・支援しています。



吉澤 延隆 (よしざわ のぶたか) 箏・十七絃箏 <http://www.nobutaka-yoshizawa.com>

1982年、宇都宮市生まれ。7歳より、和久文子氏のもとで箏を始める。東海大学大学院芸術学研究科音響芸術専攻修士課程修了。在学中、箏を福永千恵子氏、音楽学を小柴はるみ氏に師事。修士論文：「現代邦楽における十七絃箏の展開 —菊地悌子氏の活動を中心に—」2011年、今後の活躍が期待される芸術家に贈られる第10回「宇都宮エスペール賞」*を宇都宮市より受賞。これまでの同市プロボート事業*では、宇都宮市南図書館オープニングコンサート、旧篠原家アートデイコンサート、栃木県子ども総合科学館プラネタリウムコンサートなどを行い、より社会とのつながりを意識するようになった。

《リサイタル》

2009年、同世代作曲家への新作委嘱を含めたプログラムによる「吉澤延隆箏リサイタル—展開—」（東京・古賀政男音楽博物館内 けやきホールにて）を開催。

2007年、東海大学大学院芸術学研究科修士演奏会「吉澤延隆 箏リサイタル」（東京オペラシティ・リサイタルホールにて）を開催。

《海外公演》

2014年、パリ18区にてソロコンサートおよびパリ国立高等音楽院にて箏のプレゼンテーションを行う。

2011年、34th Huddersfield Contemporary Music Festival「hcmf//shorts」（イギリス）において、「Nobutaka Yoshizawa KOTO」と題しソロ公演。2010年、日本・トルコ友好年海外公演「MATSURI 2010 GAZIANTEP」（トルコ共和国カジアンテップ市主催）にて公演。

2005年、アジアの伝統音楽に関する国際会議とシンポジウム（韓国・ソウル）においてアジア楽器によるコンサートに出演。

《舞台》

2009年、翻案劇《サロメ》（主催：テレビ朝日、演出：鈴木勝秀、音楽：池上真吾、キャスト：篠井英介、森山開次、江波杏子、上條恒彦）の全国全公演で楽師として十七絃箏を担当。

《助成・受賞等》

2011年、宇都宮市より第10回「宇都宮エスペール賞」*を受賞。

2009年、宇都宮市より「うつのみや市民賞」を受賞。

2008年、第15回賢順記念全国箏曲コンクールにおいて賢順賞を受賞。

2006年、平成18年度文化庁新進芸術家国内研修制度研修員。

2004年、現代邦楽研究所10周年記念事業「東京・邦楽コンクール」において第2位入賞。

2004年、第10回長谷校校記念全国邦楽コンクールにおいて、優秀賞受賞。

